

8

リム ジン ガン
臨 津 江

山 根 優 郎

この歌は、日本でフォークソングとして流行した数少ない北朝鮮の歌である。臨津江は、軍事境界線をまたいで流れる二五四Kmの川である。歌の題名と歌詞が当時の冷戦構造を反映して二転、三転した。一九六八年（昭和四三年）、「帰ってきたヨーフパライ」の大ヒットを飛ばしたフォーク・クルセイダーズがレコードを出そうとした。題名は「イムジン河」、朴世永作詞、高宗漢作曲、松山豊日本語詞の曲である。

一、イムジン河 水清く とうとうと流る

水鳥 自由にむらがり 飛び交うよ

我が祖国 南の地 想いははるか

イムジン河 水清く とうとうと流る

二、北の大地から 南の空へ

飛び行く鳥よ 自由の使者よ

誰が祖国を 二つに分けてしまったの

誰が祖国を 分けてしまったの

このレコードの発売が決まるときレコード会社に抗議してきた

のは、朝鮮総連であった。理由は、原詞の意味を正しく伝えていない日本語詞で歌うことは許されないとということであった。

次に同年、同じ原曲から李錦玉訳詞の「リムジン江」が作られ、ザ・フォー・シリーカの歌でレコードになった。

一、リムジンガン 水清く 静かに流れ

鳥は河を 自由にとびかうよ

南のふるさとへ なぜに帰れぬ

リムジンの流れよ こたえておくれ

二、水鳥かなしく 南の岸でなき
荒れた烟に むなしくかぜがたつ

幸せの花咲く 祖国の北のうた

リムジンの流れよ こたえておくれ

こちらは原詞に忠実な訳詞であり発売禁止にはならなかつたが、民間放送連盟（民放連）で放送禁止になつた。理由は北は楽園であり南は荒れ果てた土地であるという北朝鮮の宣伝の歌を放送すれば、韓国との友好関係に悪影響をおよぼすとの判断からである。その後、一九六九年に再度「イムジン河」という

題名で加藤和彦と千曲正一の歌で二曲同時にレコードが発売されたが、この歌にも同年八月二一日に民放連は放送禁止としている。同年九月に歌詞、メロディーとともに少し変えた「イムジン河のほとりで」（作詞阿久悠）が発売されたが、盗作の疑いもあるとして発禁（アレスしている分は販売する）となつた。この歌は、北朝鮮でどの程度歌われたか知らないが多分、余り広く歌われていなうと思う。

当時、私は高校三年生で入試勉強のふりをしてよく深夜ラジオを聞いていたが、この歌はフォーク・クルセイダーズの「イムジン河」として記憶している。なぜかエースコックのワンターンメンに卵を入れて食べた（今はニンニクも入れる）思い出と重なるが、むなしい青春であったようである。

リム チン ガン
림 진 강

叙情的に $\text{♩} = 80$

リム チン ガンマムグム一ルン フィロ フル ロホーリー ボム
립 진 강맑은물 은 흘러 흘 러내-리- 고 물

セ ドラテュロ- ハ ノナ ドラ ミョナ- ボン マーン ネ
새 들자유로- 히 넘나 둘 며날-간- 만 내

고 ヒャンナ- チャ- ターン カグ ポ ドモーン カ- ニ リー-
항 남-쪽- 땅 가구 퍼 도못- 가- 니 립

チン ガンフル- マ ウィナン シツ コ フルス ニヤ リム
진 강호-름- 아 원한 실 고 흐르느 나 나

2) 강 건너갈 달에선

갈새만 슬피울고
매마른 들판에선
풀뿌리 들판건만
험동 벌이삭마다
물결우에 춤추니
림진강 흐름을
가르지는 못하리라

